

大阪府立寝屋川高等学校第 68 回入学式 式辞

うららかな春の光と満開の桜に迎えられ、今日の佳き日に、大阪府立寝屋川高等学校全日制の課程第六十八回入学式を挙げるにあたりまして、大阪府教育委員会ご代表をはじめご来賓の方々や多数の保護者の皆様方のご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、本日入学を許可された、第六十八期生の皆さん、入学おめでとうございます。今日高校生としての第一歩を踏み出す節目にあたり、入学できた喜びに加え、寝屋川高校生だという新たな自覚と、さあやるぞ！という新たな決意を是非とも持ってほしいと願います。高校時代は、人生という大きな流れの方向を決める大切な時期であり、将来自分が幸せに生きていくための準備をする時期です。そのために、これからの三年千日を自分を磨き、自分を高めるための努力を積み重ねる三年間にしてください。そして、三年後の卒業式には、今後ますますグローバル化、IT化が加速し、複雑化していくであろう二十一世紀の社会を担う若者として大きく巣立って行ってくれることを期待しています。

私は、「まだ見ぬ己」という言葉が好きなのですが、この言葉は、未来への限りない可能性を持つ皆さんにこそふさわしいものだと思います。今日の入学式に贈りたいと思います。まだ見ぬ己を夢見て、夢を咲かせるために、次にあげる三つのことを心がけてください。まずは、未来への扉をたたき勇気を持つこと。あなた方の周りには、未来に通じるいくつものドアがあります。今は実感できていないかも知れませんが、限りないと言っていいほどの道があります。勇気を出して扉をノックしてください。二つ目は、日々弛まぬ精進を積み重ねること。ノックした扉を開けるのは自分の努力以外ありません。三つ目は、決して挫けない根性です。選んだその道は険しいかもしれませんが、夢の終わりはあきらめた時だという言葉があるように、決して中途半端ではなく、一途に、そしてとことんやりぬいて下さい。夢や志を高く持ち、努力し続けてこそ十人十色の成長があり、そこに大きな感動や喜びがあるのです。メジャーリーグで素晴らしい活躍をされている、イチロー選手は、あなたのライバルは？と聞かれてこう答えておられました。「昨日の自分です」と。毎年春のスプリングキャンプでもっとうまくなりたいと思って厳しい練習に打ち込むんです。そうすると、これだけ準備したんだと自信を持ってゲームに臨むことができる、と言っています。これが、世界最高峰のプロとしての生き様なのでしょう。

人が成長するということは、これを食べるだけで何かが出来るといえるようになるというものでもなく、ましてや、お金を出せばどこかで買うことが出来るというものでもありません。何かの力を身につけるには、自分で汗を流し、努力するしかないのです。「継続は力なり」という言葉がありますが、続けていくには当然、困難もつきまとう事でしょう。だからこそ、そこに価値があり、困難を乗り越えたときには大きな喜びがあるのです。

何かを成し遂げた多くの人は、「夢や目標を達成するためには、小さな事をこつこつと積み重ねることだ」と言っています。どうか新入生の皆さん、高校生活を自分の可能性を拡げ、努力を積み重ねる3年間にし、光り輝く個性と、豊かな人間力を身につけ、逆境にも挫けない逞しい自立した人間として巣立ってくれることを心から願っています。

最後になりましたが、保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今日までの道のりは長く厳しく、そのご苦勞は並大抵のものではなかったことでしょうし、それを思いますと、今の喜びはひとしお、感無量のことだと拝察いたします。皆様方の願いや期待に応えるべく、我々教職員一同、中学校からのバトンを丁寧に受け継ぎ、生徒を成長に導くために、時に厳しく、時に温かく、誠心誠意全力で取り組んで参る所存でございます。子どもの成長という同じ願いを持つご家庭と学校が、お互いに協力してこそ、子どもたちを自己実現に導いてやることのできるのだと思っています。どうか、保護者の皆様方には、本校の教育方針をご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは新入生の皆さん、「真・善・美」の校訓を胸に、全ての人が、生きることの素晴らしさを学び、人間味豊かな人として大きく成長する高校3年間にしてくれることを心から期待し、お祝いと激励の言葉といたします。

平成 25 年 4 月 4 日

大阪府立寝屋川高等学校

校 長 乾 匡